

日々の生活こそが環境活動！ ～いつも心にエコ心 広西エコチャレ2013～

「広西エコチャレ2013」成功に向かって

熊本市との境目、益城町西部にある広安西小学校。全児童・全職員合わせて、800名を超える大規模校である。昨年度までは「生活の無駄ゼロを目指すゼロ・ウェイストの学校づくり」を行ってきた。しかし、見えてきた反省は「まずは全校の環境意識をさらに向上させること」であった。そこで今年度は、「全校一人ひとりが環境を常に意識した日々の生活」として、環境委員会が中心となり、働きかけを行うようにしている。昨年度から、「水俣に学ぶ学校づくり」も意識して取り組んでいる。昨年度までの良い点を生かしながら、全校一丸となり、日々の生活の中で少しずつ成果が出せる環境活動を目指している。

平成22年度 チーム広西・チャレンジ25	平成23年度 広西ゼロ・リデュース作戦	平成24年度 広西ゼロ・ウェイスト作戦	平成25年度 広西エコチャレ2013
-------------------------	------------------------	------------------------	-----------------------

広安西小学校学校版環境ISO実行に向けて

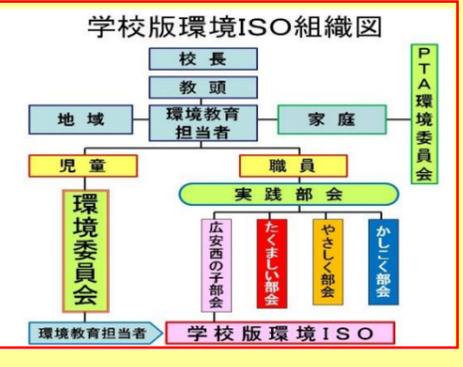
【環境教育全体計画及び年間指導計画と組織作り】

環境教育全体計画においては、「日々の生活こそが環境活動」であることを意識づけるために、学校での活動すべてに環境教育を意識できるようにしている。

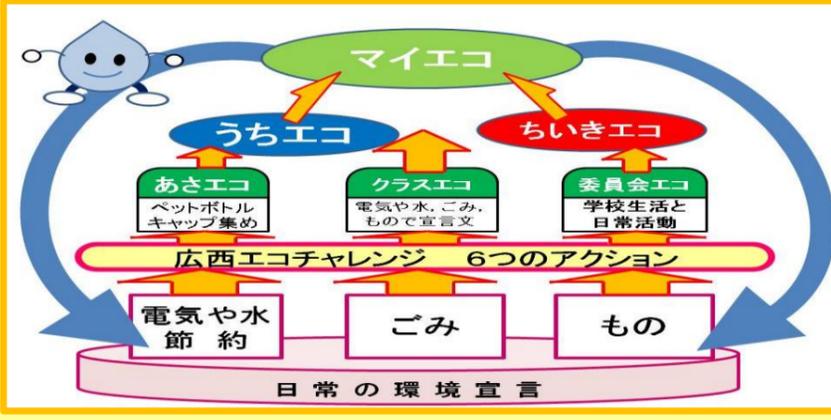
年間指導計画では、学校・地域・家庭がより密接に連携できるようにしている。また組織図では、広安西の子部会の中に明確に位置づけられるようにした。

日本国憲法 教育基本法 学校教育法 学習指導要領 熊本県教育振興基本計画 熊本県人権教育・啓発基本計画	本校教育目標 かしこく やさしく たくましく まじめに 広安西の子の育成	地域・児童の実態 ・地域の企業や環境にくわしい方と共に環境活動を展開している。 ・児童が学校で行った環境活動を家庭に持ち帰り、家族みんなで環境活動を行っている。		
環境教育の目標				
1 地球環境の問題に関心を持ち、環境保全活動に参画し、自覚的に良い環境を作る習慣と態度を養う。 2 自分の身の回りの環境に関心を持ち、環境の美化に参画して協力を養う。 3 動植物を愛し、生命を尊重し、自然を守ろうとする態度と豊かな人間性、良好な人間関係を育てる。 4 持続可能な社会にづくりに関わる課題を見いだし、それらを解決するために必要な能力や態度を育てる。				
努力事項				
(1) 日常における環境活動への意識の向上 (2) 全委員会活動による環境活動の充実 (3) 学級活動による学級環境等の整備 (4) 道徳教育・教科指導における環境教育の充実 (5) 省エネルギー対策や3R活動の推進				
各教科	道徳	特別活動	総合的な学習の時間	外国語活動
○教科指導を通して、環境問題について理解を深め、健全で豊かな環境を作る行動力を養う。 ○教科指導を通して、判断力・実践力が身に付くようにする。 ○ 社会……地域の人の関わり ○ 生活……自分を取り巻く社会環境、自然環境との関わり ○ 保健体育……自然環境と健康な生活 ○ 家庭……身の回りの環境と生活、作業活動とごみの適切な処理について	○自然に親しみ、自然の不思議さや自然の美しさを感動を持って大切にする。 ○自然の恵みを受け、自然環境を大切にする。 ○物や動物を大切に扱い、自然環境を大切にする。 ○自然の生命を尊重し、家に参画して活動し、明るい生活を営む。 ○身近に観察し、自分の行動に責任を持ち、環境を大切にしようとする態度を育てる。 ○家庭……身の回りの環境と生活、作業活動とごみの適切な処理について	○集団生活の中で、個性を生かし、協力を養い、よりよい生活を築く。 ○動物の命や生命の尊厳を尊重し、自然環境を大切にする。 ○社会責任の精神を育てる。 ○卒業活動……卒業の自覚、自主的行動を通して協力的な活動の実践を目指す。 ○自己の考えを伝え、他の人の意見を聞く。 ○学校行事……行事への参加を通して集団生活を営む。 ○学級活動……学級活動など体験的な学習活動の実践、心を育てることであることに気づかせる。	○総合的な学習の時間等を通じて、環境問題への関心を高め、身近な取り組みを実践させる。 ○地域の環境美化活動に積極的に参加する。 ○テレビや新聞等を活用して環境問題への関心を高め、身近な取り組みを実践させる。 ○一学期に1回、全校……月に1回、校内や学校の周りの美化活動を行う。その中で環境について考えさせる。 ○2学期に環境問題について、各学級で特徴的な環境学習を行う。 ○学校版環境ISOについて、児童・生徒全員が、学校全体で環境に責任を持って取り組むこととなる。	○ISO14001（環境マネジメントシステム）を構築し、教育中での取組も環境活動を行っていることを見守り、環境活動の推進を図る。 ○環境活動の推進を図る。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
環境教育に関する先駆的活動等												
学校行事・日常活動等												
地域・PTA行事												



【広西エコチャレ2013 行動計画】



1 宣 言

広安西小学校学校版環境ISO宣言目標

- | | |
|---|----------------------------|
| 【児童行動目標】 | 【職員行動目標】 |
| <ol style="list-style-type: none"> 水・電気の無駄をなくします ごみの量をへらします 物を大切にします | 給食時や昼休み、必要以外の職員室の全面消灯を指します |

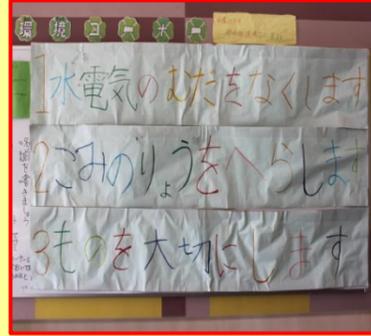
より具体的に

【数値目標】

- 電気代を前年比5万円少なくする
- 水道代を前年比5万円少なくする
- ごみの量は毎日10kgを超えないようにする

- 【手立て】
- 掃除時間はバケツに水を組む
 - 給食時間はたこさん（アクリル）たわしを使っておぼん洗いをする
 - 必要以外の電気は消す
 - ごみ箱にはごみを小さくして捨てる
 - 校内の落とし物や自分の身のまわりの物は常に意識しておく

行動目標については、環境委員会がこれまでの活動の反省をもとに、毎日無理をしないエコ活動、意識しやすい活動とは何かを考えて作成した。職員の行動目標も職員会議で共通理解を図り、一人ひとりが日頃から心がけるようにしている。



2 行 動 ①

学校版環境ISO宣言文の取組

① 電気・水の無駄をなくす取組	② ごみを減らす取組	③ 物を大切にする取組
<p>電気の節約では、給食時間や昼休みに必要以外の電気を消すようにしている。また、水の節約では、給食時間にアクリルたわしを使っておぼんを洗っている。</p>	<p>毎日、全校のごみをはかり、ごみの量をグラフ化している。各学級でもあまりごみを出さないなど、ごみを減らす取組を行っている。</p>	<p>月に一度、環境委員会が校内の落とし物を持って各クラスに回り、自分の落とし物があるかどうか確認してもらっている。</p>

広西エコチャレンジ 6つの取組

① あさエコ	② クラスエコ	クラスエコでは、各クラスで環境ISOの宣言文を作っている。多くの学級が、学校の3つの宣言文に沿って宣言文を作り、取り組んでいる。
<p>あさエコでは、朝の落ち葉拾いやごみ拾い活動、ペットボトルのキャップ集めを呼びかけ、朝から環境活動を行い、意識の向上を図った。</p>	<p>学校版環境ISO宣言文</p>	

③委員会エコ 環境委員会以外の学校生活を支える全14委員会のすべてが、日常活動に環境活動を入れている。

運営→集会時、必要以外のマイクの電源を切る	生活→上靴に名前を書くことの呼びかけ		(保健委員会)
体育→体育倉庫の整理	給食→牛乳パックのリサイクル		
放送→使用していない時、放送の電源は必ず切る	ボランティア→落ち葉やごみ拾いの推進		(栽培・飼育委員会)
保健→トイレのスリッパならべ	掲示→きれいな学校掲示		
図書→古い本を大切に使う	音楽→自然や季節を感じた歌		
栽培・飼育→校内の花壇をきれいにすする	整備・美化→学校全体の環境整備		
人権→全校児童誕生日掲示用の段ボールは使えるまで使う	ヘルマーク→カードリッジやテトラパックの回収		

④うちエコ

環境意識調査及び「わが家のエコアイデア」アンケートより



あなた（あなたのご家庭）は今、環境問題について関心がありますか？（どれかに○）

とてもある まあまあある あまりない ない

あなた（あなたのご家庭）が行っているエコアイデアを教えてください。（複数回答可）

わが家のエコアイデア（お家でどんなエコ活動をされていますか？）

電気のムダが気になる。
 ・名刺サイズ以上の紙は、「紙の目」のゴミに出すようにしている。
 ・ゴミを流さないようになるべくふき取るように心がけている。
 どんな環境活動でもかまいません。たくさんエコアイデアを教えてください。よろしくお願ひします。

うちエコとは、お家の方と一緒に
 行うエコ活動である。PTA美化活動
 における親子で学校の環境整備や
 環境通信「広西エコチャレ通信」に
 て、各家庭で取り組んでいるエコア
 イデアの情報を収集し、情報交換の
 場としている。

⑤地域エコ

グランメッセ熊本と連携



地域エコでは、環境委員会が地域
 の企業「グランメッセ熊本」との共
 同環境活動を行い、互いに取り組ん
 でいる環境活動の情報交換等を行
 っている。また、有価物回収では、
 回収した有価物を各地区の公民館
 等に集め、分別を行っている。

⑥マイエコ

マイエコでは
 全校一人ひとりが
 これまで行ってきた環境活動の
 振り返りとして、各学級で「環境
 ISO寄せ書き宣言文」を作成した。
 この寄せ書き宣言文で、全校
 の一人ひとりが、これからどのよ
 うに環境意識を向上させるかを考
 えていく一つの指標になると考え



広安西小学校「水俣に学ぶ肥後っ子教室」の取組

広安西小学校における「水俣に学ぶ肥後っ子教室」の取組では、「水俣の人々の暮らしを学び、自分の生活を見つめよう」というめあてのもと、5年生が活動を進めている。

児童の学び

5年生児童
 は全学級で、
 まずは自分た
 ちの暮らしを工夫するために何が
 できるかと考え、EM菌を使った取
 組から自分の生活を見直そうと活
 動を進めている。

職員の学び

職員は、環境
 教育研修を行っ
 たり、実際に水
 俣に行き、現地学習を行ったりし
 た。初めて知ったこと、知っていた
 つもりになっていたことが沢山あ
 り、学び直すよい機会となった。

日頃から水俣を知る

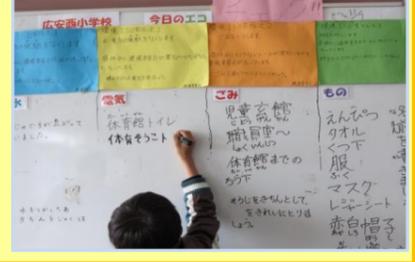
全校にも水俣の取
 組を知ってもらうた
 めに、水俣市で行っている分別方法の写真を貼り、日頃から水俣について理解を深める機会を作っている。



3 記 録

日々のボードチェックの記録

3つの宣言文について、環境委員会が
 毎日朝や昼休みに、電気や水の節約状況、
 ごみや自分の物の落としっぱなしについ
 てチェックし、ホワイトボードに書いて
 現在の校内の環境状況を全校が把握でき
 るようにしている。



グラフ化による記録

毎月や毎日記録してきた電気代、水道
 代、ごみの量は環境委員会がグラフ化し、
 校内の環境ISOコーナーに掲示してい
 る。掲示をすることで、月々や日々の増
 減を校内に知らせるようになっている。



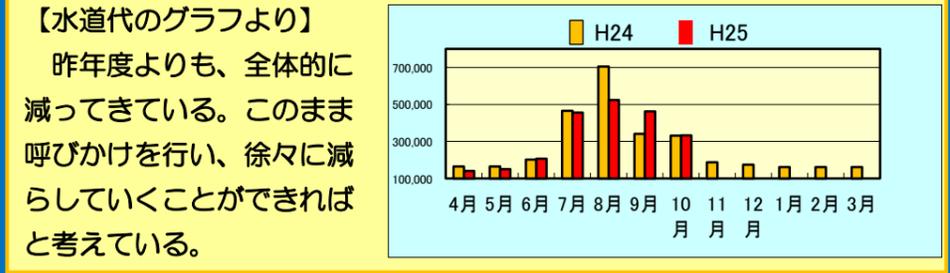
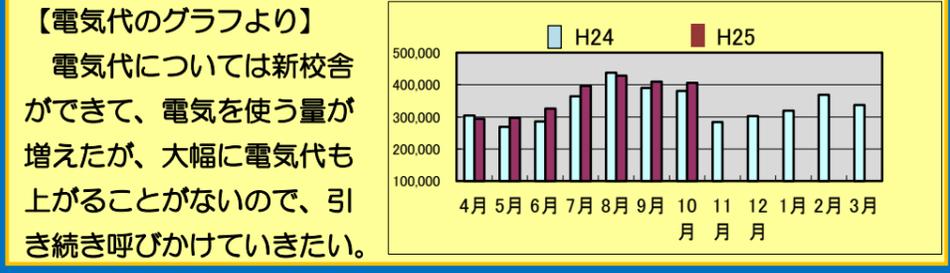
4 見 直 し

環境委員会による見直し

全校をあげて活動を行い、記録して見えてきたことを委員会活動時に報告し、全校に呼びかけることを毎日行ってきた。



グラフ化しての見直し



5 行 動

環境体験活動

全校の環境意識をさらに向上させるために、環境委員会が中心となり、様々な企画や呼びかけを行っている。

環境委員会
 が呼びかけ、
 昼休みに「たこさんたわし作り活動」
 を行った。アクリルたわしを「たこ」
 状に作り、全校児童にも大好評だった。



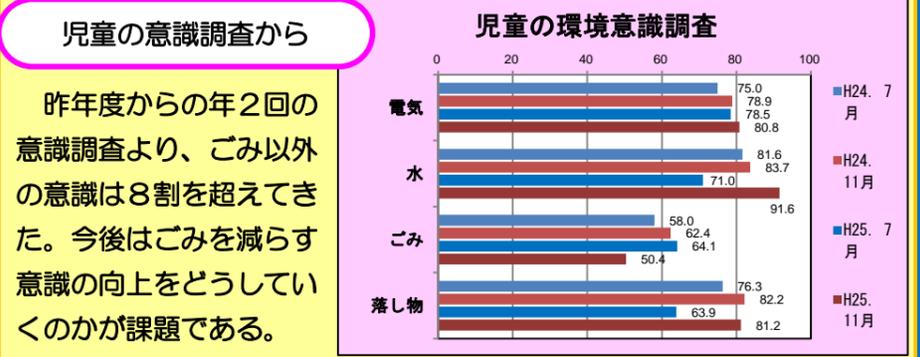
こどもエコクラブ活動

環境委員会から本校の取組を、広
 く地域へ発信する機会を得ている。
 今年度、環境委員会は「熊本の水」
 をテーマに、本校の環境活動の取り
 組み方を考え、壁新聞にまとめた。

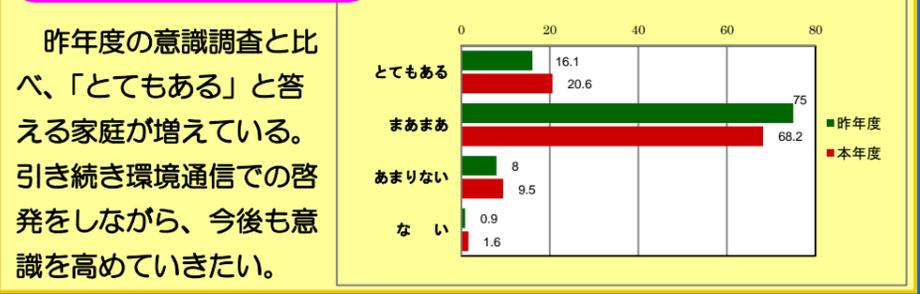


6 成 果 と 課 題

児童の意識調査から



家庭の意識調査から



今年度11月、児童の節水の意識が9割を超えた。統計以来初めてである。児童の意識向上が、各家庭や地域にどんどん浸透していくのではないかと考える。今後も日々の生活に密着した環境活動を展開させたい。